

1. 経営方針

学校は系統的に計画された授業を通して学びを深め、確かな学力を中心に「生きる力」を育んでいく場である。子どもたちは学習規律の整った落ち着いた環境で、授業を通して友と学び、知的好奇心が満足することで学習の楽しさを体感する。そして、新しい課題に目を輝かせて取り組み、そこで得た内容をお土産に笑顔で下校していく。子どもたちの自ら学ぼうとする姿勢は確かな学力を獲得させる土台となる。自ら課題を見つけ、意欲を持って学ぶ子どもの姿はまぶしく輝く。そんな一人ひとりが「輝く学校」をめざす。そのためには基礎・基本の確実な定着と、子どもたちが自ら課題に向かうための適切な支援が準備された授業づくりを進める。また、授業で得られた学びが、次の課題解決に生かしていける基礎・基本として定着させていく学びのサイクルを継続させる。このように学習活動の中で「学びのサイクル」が展開できるように、教職員が個々の力量を高め組織的に教育活動を推進する。

2. 教育目標

子どもが輝く学校

3. めざす子ども像・めざす学校像・めざす教職員像

**笑顔があふれる学校**

- できる喜び、わかる喜びが大観できる授業
- 安心して過ごせる学校
- 魅力のある教職員がいる学校

**粘り強く考える子**

- しっかりと聞き自分の考えを持つ子
- 自分の思いを素直に表現する子
- 共に学ぶ子

**うるおいのある学校**

- 元気よく挨拶ができる環境
- 子どもの成長を見守る教師のまなざし
- 子どもたちの人間関係を育てる学級経営

**思いやりの心を持ち、励まし合う子**

- あいさつができる子
- クラスを大切に、協力し合う子
- 友だちを大切にする子

**勤労を貴び、粘り強く行動できる子**

- 運動に親しみ自分の体を鍛える子
- あきらめず取り組む子
- 健康、安全に気をつける子

**美しい学校**

- みんなで清掃活動を進める学校
- 花や木々の美しい環境
- 学習規律が確立し、整然と授業が進められる学校

**みんなの学校**  
「ふるさと王子」

**地域に開かれた学校**

- 家庭や地域との連携・協力を努める学校
- 情報の双方向化を進める学校
- 学校評価の結果を生かした改善を進める学校

4. 重点

1. 話を聴き、その思いが理解できる子の育成  
※友だちの思いを聞く態度の育成  
※自分の思いを粘り強く伝える態度の育成

2. 周囲の人を尊重し、共に生きる心の育成  
※互いのよさを認め合える場の設定  
※安心して学ぶ教育環境の整備

3. 支え合い、励まし合う居心地のよい学級づくり  
※学級経営・学級づくりの手法の研鑽と教師間の交流  
※学級の実態把握と適切な対応

4. 家庭・地域と連携し、開かれた学校の推進  
※地域の教育力の積極的な活用  
※学校行事、地域行事への相互参加、ふるさとづくりの推進